

平成30年度関東高等学校バドミントン大会  
兼 第64回関東高等学校バドミントン選手権大会  
実 施 要 項

- 1 主 催 関東高等学校体育連盟 関東バドミントン連盟 東京都教育委員会
- 2 主 管 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部 東京都高等学校体育連盟  
東京都バドミントン協会
- 3 後 援 (公財)東京都体育協会 世田谷区教育委員会
- 4 大会日程 平成30年6月1日(金)～平成30年6月3日(日)  
監督会議 平成30年6月1日(金)13時30分  
開会式 平成30年6月1日(金)15時00分  
競技 平成30年6月2日(土)～平成30年6月3日(日)9時10分競技開始  
閉会式 平成30年6月3日(日)競技終了後
- 5 会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館、屋内球技場  
(〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1)
- 6 種 目 学校対抗 男 女 各団体戦
- 7 競技規則 本大会実施要項及び平成30年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程による。
- 8 競技方法 (1) トーナメント戦方式で行い、3位決定戦は行わない。  
(2) 試合順序は複1・単・複2で実施する。ただし、兼ねることは出来ない。  
(3) 1対抗戦は、2マッチ先取とする。
- 9 使 用 現行の(公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び平成30年度第1種検定合格水鳥球を  
器 具 使用する。使用するシャトルは、次の銘柄とする。  
ヨネックス(トーナメント) ミズノ(スカイクロス EX) ゴーセン(ネオ・フェザー・プラチナ)  
ビクター(マスターエース) メトロ(プロフェザーEX)
- 10 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程)に在籍する生徒であること。ただし、休学中・留学中の生徒を除く。  
(2) 選手は、各都県高等学校体育連盟の生徒で、バドミントン専門部に登録し、当該競技要項により参加資格を得たものに限る。  
(3) 年齢は平成11年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(4) 各都県の出場校数は、次の通りとする。  
栃木県(男女各4校) 千葉県(男女各4校) 茨城県(男女各4校)  
埼玉県(男女各5校) 山梨県(男女各4校) 神奈川県(男女各5校)  
群馬県(男女各4校) 東京都(男女各7校)  
(5) (公財)日本バドミントン協会に平成30年度登録済みの者。  
(6) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(7) 統廃合の対象となる学校については、当該学校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(8) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該都県の高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りではない。  
(9) 出場する選手は、予め健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(10) 参加資格の特例

- ア 上記 10(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記 10(3)ただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。

(ア) 大会参加資格を認める条件

- ① 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重する。
- ② 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ③ 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
- ④ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(イ) 大会参加に際し守るべき条件

- ① 関東高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 11 参加制限 (1) チーム編成は、1チーム監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5～7名(同一校選手)とする。又、選手5名を欠いた場合はチームとして認めない。男女同一校が出場する場合は、それぞれに監督をつけること。なお、マネージャーは、当該校の職員または生徒とする。

(2) 外国人留学生の出場枠について

- ア 学校教育法第1条規定『高等学校卒業を目的としている生徒』であること。
- イ 在籍校が、各都県高等学校体育連盟に加入していること。
- ウ 年齢は平成11(1999)年4月2日以降に生まれた者とする。
- エ 短期留学は除く。
- オ 外国人留学生の参加についての申し込みは2名以内とし、対抗戦の出場は、その出場人数(1名又は2名)に関わらず、1試合とする。

- 12 引率・監督 (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。  
引率責任者は、選手の全ての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。  
個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。

- 13 表彰 学校対抗1位から3位まで表彰する。

- 14 参加料 学校対抗 1チーム 20,000円

- 15 申し込み (1) 参加校は参加申込書を、「東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部」のホームページからダウンロードし、必要事項を入力したデータを下記メールアドレスへ5月11日(金)迄にメール送信すること。また、プリントアウトした大会参加申込書(正1通・副1通)に押印して各都県委員長に提出すること。

『東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部』

[http:// www.tokyo-hsbad.com](http://www.tokyo-hsbad.com)

『東京都高体連バドミントン専門部事務局』

Tomoaki\_Takahashi@education.metro.tokyo.jp

(2) 各都県委員長は、平成30年5月18日(金)までに都県毎に一括して申し込むこと。

ア 監督、コーチ、マネージャー及び選手の変更は、所定の用紙を使用し、平成30年6月1日(金)12時から13時までに駒沢オリンピック公園体育館内の「受付」に提出すること。ただし、追加は認めず、選手変更は病気、事故等によるものとする。

イ <個人情報の取り扱いに関して>

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて」を参照。)

- 16 組合せ 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部が指名した競技役員長(レフェリー)の指示の下、本専門部役員との間で厳正に執り行う。
- 17 宿泊費 宿泊料金は、1泊3食14,000円を上限とする。昼食代の上限は864円とする。詳細は、『宿泊要項』を参照のこと。宿泊場所が決定次第、各校に連絡する。
- 18 競技上の注意 (1) 試合はタイムテーブル順に流し込みで行う。試合進行状況によって、コートを並行することもある。試合が連続する場合は、20分以上のインターバルを与える。  
(2) オーダーの交換は、試合開始前に放送で指示をする。1巡目のオーダーの提出は9時00分とする。  
(3) 集合は、放送にて指示をする。放送後、速やかに直接コートに集合すること。ベンチサイドは主審に向かって左側を先番チームとする。  
(4) 試合前の練習は、試合ごとに両校同時に2分間とする。  
(5) 写真の『フラッシュ撮影』は禁止する。  
(6) 今大会はマッチ中の給水を条件付きで認める。  
ア 容器は、倒れてもこぼれない蓋付の容器を使用すること。  
イ 容器は、設置(主審の横)してある容器入れの中に入れること。  
(7) クーラーボックスのフロアー内持ち込みは禁止する。  
(8) 氷嚢の使用はインターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れること。
- 19 審判上の注意 (1) 各試合とも、準決勝以降はサービスジャッジをつける。その他の試合は原則としてサービスのジャッジはつけない。  
(2) マッチ中、シャトルがインプレーでない時のみ、プレーヤーはコーチからアドバイスを受けることができる。  
(3) それぞれのゲーム間に120秒を超えないインターバルを、又、ゲーム中どちらかのスコアが最初に11点になったとき60秒を超えないインターバルを認めるが、競技区域に入れる監督・コーチ等は同時に2名までとする。そして、主審の「20秒」のコールで競技区域内から離れること。  
(4) 審判員の判定に対して疑問のある場合は、プレーヤーと監督に限り質問することができる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
- 20 参加上の注意 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。  
なお、参加者は保険証を持参すること。
- 21 備考 (1) 練習会場は設けない。  
(2) 競技時の服装は、色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。  
(3) 露出するインナーウェアについては、(公財)日本バドミントン協会審査合格品競技ウェアのみ認める。

- (4) 上衣の背面中央に必ず、高等学校名及び都県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。【上段－学校名(やや大きく)、下段－都県名】  
ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とする。  
(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色又は濃紺色とする。)
- (5) 参加校は、6月1日(金)12時から13時までに駒沢オリンピック公園体育館内『受付』で受付をすること。  
その際、指定のシャツ(ケースに学校名を記入)を1ダース提出し、翌日のオーダー用紙・プログラム、IDカード等を受け取る。
- (6) プログラムは、学校対抗各校4部を無料とする。
- (7) プログラムのミスプリントの訂正については、6月1日(金)12時から14時30分までに所定の用紙を駒沢オリンピック公園体育館内の『受付』に提出すること。
- (8) 飲食物・ゴミ等の後始末は、各校の責任で行うこと。
- (9) 履物は『屋内用』『屋外用』の区別をはっきりすること。
- (10) 会場内のロビー等での練習は禁止する。アリーナ内の施設・設備に損害を与えた場合には弁償してもらうこともある。
- (11) 会場内の共有スペースの占有利用は認めない。
- (12) 開会式は次の通りとする。
  - ア 選手集合は 6月1日(金)14時30分駒沢オリンピック公園運動場体育館とする。  
【時間厳守】
  - イ 部旗を持って参加できる。ただし、旗竿は各校で用意すること。
  - ウ 選手は試合用ユニフォームを着用すること。
- (13) 監督会議は、駒沢オリンピック公園運動場**体育館内の北ウォーミングアップ場**で行う。